

I 実践

1 研究主題

他人への思いやりと感謝の心を育てるとともに、幅広い人間関係を築ける児童の育成

(1) 主題設定の理由

児童は、多くの人たちと関わり合いながら学校生活を送っている。そして、互いに助け合い、認め合い、支え合う温かい人間関係が育ってきている。そこで、日常生活や体験活動を通して、差別や偏見の心を持たない、人を思いやる優しい気持ちが自然に出てくる児童を育てていきたいと考え本主題を設定した。

(2) 研究の内容

- ア 豊かな体験活動の展開
- イ 人権に関する啓発活動の充実
- ウ 人権意識を高めるための職員研修の充実

2 実践内容

(1) 豊かな体験活動の展開

ア 久慈川菜の花エコネットワーク推進事業への参加

今年度も地域を愛する心や態度を育てるために、地域と日立市の共催事業「久慈川菜の花エコネットワーク推進事業」に全校児童で参加し、取り組んできた。

特に、8月のとうみ体験、10月の菜の花の種まきや12月の除草作業にと児童たちは熱心に取り組み、地域を愛する心の育成が図られた。



菜の花の種をまく様子(10月)

イ 地域との交流(高齢者との会食交流会・地域人材を生かした体験学習・運動会・三世代交流会)

本校では、児童たちが地域の方とふれ合う機会が多く設定されている行事が多い。なかでも、地域の高齢者との交流会(3・4年)や地域の人材を生かした体験学習(全学年)・運動会(全学年)三世代交流会(全学年)では、地域と連携を深めながら取り組んだ。児童たちは積極的に地域の方に語りかけていた。

学区内にある特別養護老人ホーム MAO(6学年)に、年2回訪問し、交流している。高齢者とのふれあいや、発表などの活動を通して、開設以来10年以上の交流と理解を深めている。

地域の人材を生かした陶芸体験学習は、実施して3年目で、地域の陶芸家を講師に招き、児童たちは発達段階にあった陶芸作品作り(低学年・皿, 高学年・貯金箱)に取り組んでいる。今年度は、1月16日に実施予定である。



地域の高齢者との会食交流会(6月)



地域の陶芸家から学ぶ児童(昨年度7月)



地域とふれ合う運動会(6月)



三世代交流会でベーゴマを教えてもらう児童(11月)

ウ 異学年との交流活動（たてわり班の清掃活動等）

本校では、週に2回(水曜日・金曜日)の清掃活動をたてわり班で行っている。高学年の子は低学年の子の面倒をよくみている。また、東小沢っ子タイム(毎週火曜日、ロング昼休み)での集団遊びでも異学年交流が積極的に行われている。

エ あいさつ運動や募金活動

奉仕委員会の児童が中心となって「朝のあいさつ運動」を毎週水曜日・金曜日に昇降口で実施した。また、緑の羽根・赤い羽根・友情の絵はがき・書き損じはがき・心の友鉛筆などの募金活動も進んで行った。

(2) 人権に関する啓発活動の充実

ア 人権作品展（メッセージ・標語・ポスターなど）への取り組みについて(7～9月)

人権に関する本やビデオを視聴したり、人権に関する話し合いをもったりした。また、夏休みの課題として、学年や児童の実態に応じて人権作品に関する応募に積極的に呼びかけた。

イ 人権学習の実施

道徳教育の一環として人権教育を重視した道徳の時間を設定し行なった。「見た目で人を判断しない」、「いじめは絶対に許さない」という意識化が図られた。

(3) 人権意識を高めるための職員研修の充実

ア 全職員で取り組む校内研修等

校内研修の時間や児童の情報交換の中で、事例研修などを通して教職員の人権意識を高めるように取り組んでいる。道徳教育の研修やビデオの視聴などを通して、夏休みを中心に研修を進めた。

イ 年間指導計画の見直し

「人権教育に関わる年間指導計画」を学年ごとに検討している。特に女性・子ども・高齢者・障害者・同和問題・東日本大震災等の人権侵害の見直しを継続して行っている。

3 成果

- (1) 地域との多くの交流や異学年交流を通して、好き嫌いとらわれずに、誰とでも公正・公平にふるまい、仲良く生活する態度を育てることができた。
- (2) 「久慈川菜の花エコネットワーク推進事業」や「あいさつ運動」などにみられるように、児童が自分たちの地域の一員であるという自覚を高めることができた。

II 今後の課題

- (1) 各教科や道徳の時間など学校教育全体を通して、人権に関する学習をよりいっそう充実させ、児童一人一人の人権意識のさらなる高揚を図るための取り組みを計画的・継続的に実践していきたい。
- (2) 児童が地域の一員であるという自覚をさらに高めていく手立てを意図的に展開していきたい。
- (3) 人権意識を高めるための職員研修を計画的・継続的に実施し、人権教育について共通の認識が持てるようにしていきたい。

III 人権コーナーの設置

本校では「人権コーナー」という名称では設置していないが、道徳的内容を含んだ「こころのまどコーナー」を設置している。そこで人権教育の啓発活動も行っている。

【昇降口に設置してある「こころのまどコーナー」】

学校行事に関して児童が励んだ事などを写真や児童の文章など児童の昇降口に掲示されている

を活用し紹介している。

「こころのまど」

【学級に設置してある「こころのまどコーナー」】

道徳の授業などで学習した内容や体験活動の感想などを掲示している。友達の思いや考えの良さを理解できるようになっている。

学期ごとに重点目標を設定し、よりよい人間関係の育成に努めている。

1学期：みんななかよく

2学期：最後までがんばるぞ

3学期：心からありがとう

掲示されている「こころのまど」

